

飯南

議会報

いいなん



バックナンバーも読めます

第87号
令和8年10月20日

- 2 9月議会報告
可決した主な議案
常任委員会報告
- 3 決算審査特別委員会を設置
令和8年度各会計補正予算
常任委員会報告
- 4-6 一般質問
- 7 採決の結果
議会活動報告
全員協議会の報告
- 8 明日を拓く



9月定例会を終えて

9月8日から18日まで11日間の日程で開催

今夏の島根県消防操法大会において、飯南町消防団第1分団が見事な操法を発揮し優勝された。10月31日に開催される全国消防操法大会（東京）での活躍を祈念する。この大会への出場経費などで670万円余を補正予算に計上。リース牛舎の建設や堆肥センターの設備更新など、畜産振興に2780万円余を充て支援する。その他、水道料金を引き上げる条例改正などを議決した。

可決した主な議案

条例関係

- ・飯南町水道施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

予算

- ・令和8年度飯南町一般会計補正予算（第2号）など7件

諸議案

- ・固定資産評価審査委員会の委員の選任
- ・財産（飯南高校支援公用バス車両）の取得

報告

- ・令和7年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告など4件

決算審査特別委員会を設置

令和7年度飯南町一般会計、各特別会計の歳入歳出決算及び各公営企業会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置した。

12月定例会で審査結果を報告する。

委員長 岸 光研
副委員長 安部 丘

委員長 高橋 英次
副委員長 安部 誠也
委員 景山 登美男
委員 高橋 徹

令和8年度 各会計補正予算

一般会計は 1億3487万円 増額

堆肥センター機械更新・修繕1978万円、定住住宅建設に伴う用地購入・造成費用1610万円の増額、リース牛舎建設（八神地区）設計委託料802万円、飯南町消防団の全国大会出場経費675万円、光ケーブル断線復旧工事費（谷地区）390万円、訪問看護事業継続支援補助金330万円、減債基金積立金3773万円の増額など

会 計 名		補正予算額	予算総額
一 般 会 計		1億3487万円	85億9457万円
特別会計	国民健康保険事業	1205万円	6億3448万円
	後期高齢者医療事業	—	2億549万円
	介護保険サービス事業	3014万円	4872万円
病院事業会計		96万円	14億6183万円
簡易水道事業会計		—	5億4831万円
下水道事業会計		—	5億1279万円

常任委員会報告

教育経済常任委員会

委員長：高橋英次 副委員長：岸 光研
委 員：内藤真一 安部誠也 平石玲児

令和8年度 飯南町一般会計補正予算（第2号）

堆肥センター臨時管理費 1978万円

ホイールローダー更新費用が1650万円、攪拌チェーン等の修繕費が328万円。

経年劣化や腐食等による故障が頻発しており、更新が必要。

更新に当たっては、耐用年数・使用年数・累積稼働時間・修理費の限界値等を考慮し、計画的に進めるよう求めた。

リース牛舎整備事業 802万円

八神地区でのリース牛舎建設のための造成に係る設計委託料。

産地を支える中核的な経営体を目指す畜産新規就農者の牛舎など施設整備に係る負担を軽減するために支援する。

総務厚生常任委員会

委員長：景山登美男 副委員長：安部 丘
委 員：早樋徹雄 高橋 徹

令和8年度 飯南町一般会計補正予算（第2号）

定住促進住宅整備事業 1610万円

赤名連担地の定住促進賃貸住宅予定地の範囲の変更に伴う用地の購入費及び造成費。

訪問介護事業支援補助金 330万円

訪問介護事業は、令和6年度の介護報酬改定により運営が一層厳しくなったことから、町内唯一の訪問介護事業所である社会福祉協議会に対し、令和6年度から8年度の3年間、上限を年350万円とし事業継続への支援を行うこととしている。

令和7年度決算による赤字額が確定したことから、330万円を補助する。

デマンドバス運行管理費 24万円

デマンドバスの予約をLINEでできるようにするために必要なタブレット6台の購入費。

これによりバス利用の利便性の向上が図られる。

全国消防操法大会活動事業 675万円

飯南町消防団の全国大会出場経費。

旅費、活動服・ヘルメット・ホースなどの購入費、ポンプ車輸送費、全国大会会場用のぼり旗購入などを支援する。

全国大会での選手の健闘を期待する。



健康は町の宝

岸 光研 議員

一般 質問

令和8年 9月定例会

ふるさと納税の取組みは



内藤 眞一 議員

Q ふるさと納税手数料と返礼品開発

新聞報道で「全国で1379億円もの手数料が自治体から流出」との記事があった。本町でも大手ポータル事業者に委託しているが、返礼品は寄附額の30%以下、手数料は10%程度とされる中で、実際の手数料はいくらなのか。

A 魅力ある商品開発に取り組み

町長塚原隆昭

ふるさと納税の経費は、国の「寄附額の5割以下」という厳格なルールに基づき運営しており、これを超えると指定が取り消される重いペナルティがある。

本町ではこの基準を確実に守り、適正な経費管理を行っている。手数料は全国的に10%程度が一般的であり、本町も「ふるさとチョイス」などを活用し、広告費や決済システム利用料として適正に支払っている。



ふるさと納税返礼品

返礼品の調達・発送は専門事業者へ委託し、効率化と品質向上を図っている。

寄附額は令和2年度をピークに減少しており、競争が激化する中で、魅力ある返礼品の開発とPR強化が不可欠である。

今後は、サツマイモの加工品やしめ縄を生かした体験型返礼品など、地域の特色を生かした新たな商品づくりに取り組み、寄附者の関心を高めていく。

Q 道交法改正の周知を

自転車の信号遵守や横断歩道の通行方法、生活道路の法定速度引下げなど、道路交通法の改正が住民に十分伝わっていないのではないかと。交差点で自転車赤信号を無視して直進した事例や、横断歩道を自転車に乗ったまま通行する高齢者の姿が見られ、事故につながりかねない。こうした改正点は早めに周知すべきではないか。

A 情報提供を続ける

町長塚原隆昭

今年4月には自転車への反則切符制度が導入され、9月からは生活道路の法定速度が時速30kmに引き下げられるなど、交通安全に関わる改正が続いている。

本町では広報紙、ケーブルテレビ、駐在所回覧などを通じて周知しているが、今後も町の広報媒体に加え、警察署や交通安全協会と連携し、丁寧な情報提供に心がける。



連担地速度制限標識

Q 熱中症対策を

気象庁は、本年より40度以上の日を「酷暑日」と名づけた。本町ではそこまでの気温の上昇はなかったが、今後ますます気温の上昇が予想され、何らかの対策が必要だ。

熱中症対策として、水分補給や塩分摂取に併せ、冷房を有効活用することが暑さ対策と言われているが、暑さに負けない体作りも重要だ。本町独自の対策としてできることはないか。



クーリングシェルター

※1・クーリングシェルター
危険な暑さから逃れるために誰でも無料で涼むことができる場所。

A 健康増進に取り組む

町長塚原隆昭

本町は12カ所をクーリングシェルター(※1)として指定している。その日の体調により熱中症にかかる場合もあり、冷房のある部屋等で過ごすことも必要だ。

また、「暑さに負けない体づくり」も重要だ。「第4次健康ないいなん21」では食生活改善、運動習慣改善、生活習慣の見直しを示していて、長生き体操などで運動習慣を保ち、基礎体力の維持・向上に取り組んでいる。

志々地区で実施される「謎解きウォークラリーしまねクエスト2026」に住民にも参加していただき、健康づくりと運動習慣の定着に活用していきたい。

本町独自の熱中症対策はないが、食生活や筋力の維持、そして睡眠時間の確保など、健康増進の取り組みを進めていくことが、熱中症対策にもつながると考える。

Q 攻めの予防医療を

元気で長生きできることは理想であり、より良い長寿社会の構築につながるということで、本町では、健康教室やサロンなどが開かれている。

このような活動が、まさに攻めの予防医療であると考ええる。今後もより一層の健康への取り組みを考えるべきと思うが、対応を問う。

A 官民あけて取り組む

町長塚原隆昭

平成25年度から地域包括支援センターに理学療法士を配置し、専門職の知識や技術を活用した介護予防、地域づくりの取り組みを進めている。平成28年度からは、運動や健康づくりに取り組む「通いの場」サロンを推進している。

本町の65歳平均自立期間(※2)は県内平均を上回っている。保健、医療、介護、福祉が連携した地域包括医療ケ



公民館での健康体操

アシSTEMが確立された結果だと思う。

このたび国が示した「攻めの予防医療」は、これまでの取り組みと方向性を同じくしており、今後も地域全体で「すこやかに生きる」ことを目指し、関係機関と連携し、地域ぐるみで、つながり支え合いによる健康づくりを進める。

※2・65歳平均自立期間
65歳の人介護を受けずに自立して、あと何年生活できるかを指す。

採決の結果 【9月定例会】		結果	内藤眞一	高橋英次	安部誠也	景山登美男	安部丘	平石玲児	岸光研	高橋徹	
件	名										
固定資産評価審査委員会の委員の選任		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	
飯南町水道施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
財産（飯南高校支援公用バス車両）の取得		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和8年度飯南町一般会計補正予算（第2号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和8年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和8年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和8年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算（第2号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和8年度飯南町病院事業会計補正予算（第2号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和8年度飯南町簡易水道事業会計補正予算（第2号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和8年度飯南町下水道事業会計補正予算（第2号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	

○：賛成 ●：反対

議会活動報告 【7月～9月】

- 7

3日

議会広報常任委員会
瑞穂・高野インターアクセス新銀山街道整備促進期成同盟会総会
- 5日

島根県消防操法大会
- 6日

国道54号（三次～松江間）改良促進期成同盟会総会
- 8日

国土交通省中国地方整備局への要望活動
（斐伊川水系治水期成同盟会及び、国道54号（三次～松江間）改良促進期成同盟会）
- 10日

中国治水期成同盟会総会
- 15日

全国町村議会議長会制度検討会（東京）
西日本地区各県協議会（東京）
- 16日

全国豪雪地帯町村議会議長会総会（東京）
都道府県会長会（東京）
- 17日

大村市との姉妹都市締結式
- 20日

大しめ縄燃り合わせ記念行事
- 21日

雲南地域幹線道路改良整備促進期成同盟会定期総会
- 29日

島根県町村議会議長会臨時総会
島根県知事と町村議会議長との意見交換会
- 8

4日

島根県市町村事務組合定例会
島根県町村議会議長会正副会長会
- 15日

飯南町二十歳のつどい
- 25日

知事要望
島根県市町村議会広報研修会
- 26日

雲南広域連合議会定例会
- 28日

全国広報研修会（東京）
- 9

1日

教育経済常任委員会
- 3日

議会運営委員会（9月定例会の提出議案、日程ほかの協議）
議会広報常任委員会
- 8日

9月定例会：本会議（町長提出議案の説明、質疑、委員会付託）
- 11日

：本会議（一般質問）
- 14日

：委員会審査
- 15日

：委員会審査
- 16日

：委員会審査
- 17日

：委員会審査、予算特別委員会、全員協議会
：議会運営委員会
- 18日

：本会議（委員長報告、討論、採決）
- 24日

議会広報常任委員会
- 25日

飯南町秋季畜産共進会
- 30日

議会広報常任委員会

全員協議会の報告

- 令和8年9月17日（木）
- ①飯南町地域防災計画の修正
 - ②標準化準拠システム移行の延期及び事業者の変更
 - ③令和8年度飯南町総合振興計画等評価委員会の答申
 - ④令和8年度知事要望
 - ⑤飯南町の保育所のあり方に関する提言書の説明状況
 - ⑥次期一般廃棄物処理のあり方に係る再検討
 - ⑦小・中学校の再編
 - ⑧国民健康保険料の保険料水準の統一



一般質問

令和8年9月定例会

新たな財源を探せ

安部 誠也 議員



県の公用車への広告掲示

Q 自ら稼ぐ姿勢を示せ

「稼ぐ」自治体は、国・県補助金や地方交付税に頼らず、少子高齢化や人口減少による税収減少に立ち向かうため、自ら新たな財源を生み出す仕組みをもっている。

主な手法としてネーミングライツ（命名権）で、公共施設に企業名を冠する権利を売却し、毎年の維持管理費に充てる財源とする仕組みを採用すべきではないか。

少額だが、自ら稼ぐ姿勢を町民に示す意味でも、広報誌やバナー広告、公共施設壁面

などの屋外広告物や住民に届く封筒に民間企業の広告枠を設けてはどうか。

A 経費に見合う収入が見込めない

町長 塚原隆昭

本町の公共施設は、都市部とは異なり大規模な集客が見込まれる施設がないので取り組みの効果が少ない。名称変更に伴う看板や印刷物等経費もかかり、施設名が変わることで混乱が生じ導入は難しい。

「ホームページ広告掲載取扱要綱」を定めて、バナー広告の公募を実施し、町外の企業などから広告掲載料を徴収している。印刷物、広報紙や封筒などは、経費に見合う収入が見込めないため見送っている。封筒は他市町の状態も再度確認し、メリットがあれば検討したい。

屋外広告からは手数料を受け取れるよう手数料条例で規定しているが、実績はな

Q 保育士の待遇改善を

保育士不足のため統合はやむを得ないということだが、本質は保育士の待遇が悪いからだ。

かつては全員が町職員であったが、行政コストの観点から社会福祉協議会（以下社協）に委託した。提言書の保育所職員のアンケートでは、仕事内容と給与水準が合わないとの回答が多く、社協の下では不安や不満を感じる職員が多い。納得し働き続ける給与水準への変更が必要だ。

意見を聞く会、町政座談会でも多数の意見があったが、統合ありきではなく、保育士の待遇改善が先であり、公営に戻すべきだ。

A 処遇改善される

町長 塚原隆昭

10月に処遇改善を実施されることで、賞与を含めた年間給与は近隣自治体と比較してやや上回り、都市部の水準に近づく。

合併後の行財政改革で、職員数を削減するため業務委託を開始した経緯がある。町の方針で直営は考えていない。



パプリカで飯南町の農地を守りたい

和歌山から移住した

新規就農者の挑戦

田渕 裕希さん（上米島）

飯南町へ移住し、パプリカ栽培を中心に農業に取り組む田渕裕希さん。和歌山県で美容師として働く中で「自然の中で暮らしながら仕事をしたい」と考えるようになり、農業への転身を決めました。

競合の多いレタスや白菜ではなく、収益性が期待できるパプリカに着目。全国の制度を調べる中で、初期投資を抑えて就農できる飯南町のリースハウス制度に魅力を感じました。



にこやかに語られる田渕さん

来町後はパプリカ農家で2年間研修を受け、栽培技術だけでなく土地探しや経営の基礎も学びました。研修終了の頃、ちょうどリースハウスを離れる法人があり、そのハウスを引き継ぐ形で独立就農されました。

しかし、独立後は試行錯誤の連続で、「研修先と同じ方法でも、自分の圃場ではうまくいかない。水なのか肥料なのか防除なのか…、など一つずつ原因を探しました」と振り返ります。努力を重ねた結果、今年は収量約7トン、売上げ500万円の目標を達成できそうなところまで

ました。

パプリカの栽培は11月中旬頃まで続きます。夏の暑さや品種による生育の違いなど、飯南町ならではの難しさもありますが、気候や土の状態を見極めながら工夫を重ねて「土を甘やかすすぎず、土と会話しながらやるのが大切」と話されていました。

そして今、田渕さんにはもう一つの目標があります。それは、飯南町の農地を守ることです。

高齢化や担い手不足により



人気上昇中のパプリカ



丹念に出来具合をチェック

耕作されなくなる農地が増えることが懸念される中、「売上げを伸ばすだけでなく、耕作放棄地になりそうな農地を引き受け、米や野菜を作っていききたい」そして、「将来は法人化し、従業員を雇用して規模拡大を目指しています。安定した雇用を生み出し、地域の農地を守りながら次の担い手につながる農業を実現し、飯南町に恩返しできれば」と強い思いを語られました。

田渕さんの挑戦は、これからも続きます。

今日の表紙写真



パプリカは飯南町の特産で近年人気のある農産品。美容と健康に効果が期待できるため市場でも人気の高い商品です。田渕さんの目標は「飯南町の農地を守りたい」と言われましたが、転入者の夢をカタチに出来るのは、私たちのパートナーシップではないでしょうか。共に町の明日を創っていききたいものです。

募集中

「明日を拓く」で取り上げてほしい個人・団体などの情報をお寄せください。議会広報委員が取材に伺います。

《応募先》飯南町議会事務局
0854-76-2190



議会広報常任委員会

委員長：安部 丘 副委員長：高橋 徹 委員：安部 誠也 景山 登美男 平石 玲児 岸 光研

飯南町議会事務局 島根県飯石郡飯南町下赤名880番地 TEL0854-76-2190 FAX0854-76-2867